

2022年5月10日

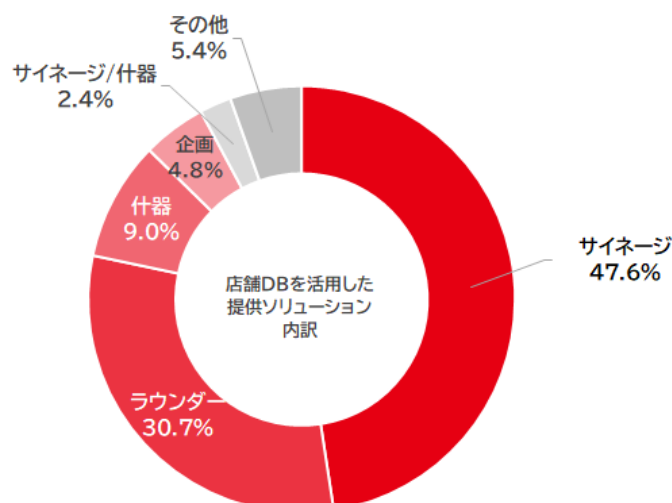
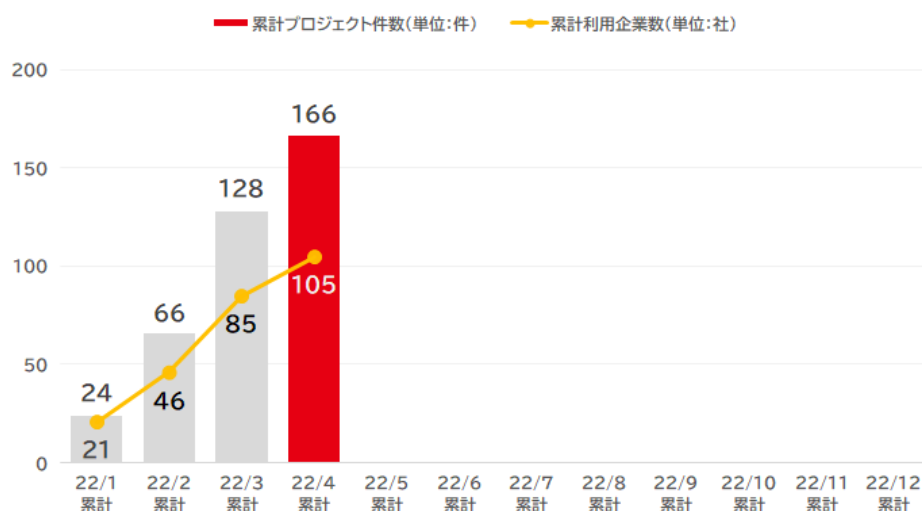
インパクトホールディングス株式会社（東証グロース・証券コード:6067）

2022年4月度 累計店舗DB提供数およびフィールド業務稼働件数のお知らせ

SDGs 販促を推進するインパクトホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：福井 康夫、東証グロース・証券コード:6067、以下「当社」）は、ラウンダー、推奨販売、デジタルサイネージ、覆面調査等のフィールドマーケティングサービスを全国で展開しており、累計 860 万件超の業務実績、店舗 DB を蓄積しています。2022 年 4 月度の累計フィールド業務稼働件数をお知らせいたします。

◆ 累計店舗DB提供数 概況

2022 年 4 月度の店舗DB累計利用企業数は 105 社、プロジェクト件数は 166 件となった。また、店舗DBを活用した提供ソリューションの内訳としては、サイネージが 47.6%、ラウンダーが 30.7%、什器が 9.0%の順に多い結果となった。

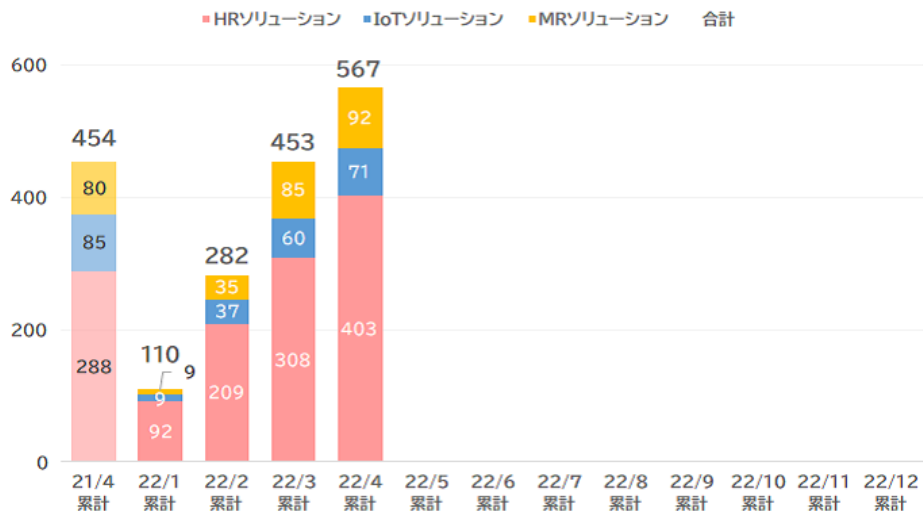


◆ 店舗 DB 活用事例

既存顧客である電子機器メーカー様より、定期ラウンダーの巡回店舗の見直しを行いたいという要望に対し、店舗ごとの売上データやこれまでの店舗巡回データに加えて、競合他社の販促実施データや商圈データ等と組み合わせ分析を実施。駅近店舗や、鮮度の高い棚作りが出来ている店舗、過去の店舗巡回、サイネージ設置実績の多い店舗は、25～45%売上が高くなる傾向がみられた。

今後は、分析結果を基に巡回店舗の選定や、販促施策の効率化を図るために巡回頻度の最適化を図っていく予定。

◆ 累計フィールド業務稼働件数 概況



- HRソリューション事業は、売場メンテナンスや販促物設置ラウンドの依頼が増加。HRソリューション全体では前年同期比 40.1%増。
- IoTソリューション事業は、前年同期比での出荷台数は下回ったが、オンラインサイネージや大型サイネージ等の高付加価値商材の出荷もあり、売上高は順調に推移。
- MRソリューション事業は、前月に引き続き、まん延防止等重点措置の解除に伴い、中止・延期をしていた覆面調査が徐々に再開。

【注】

- ※ 案件により売上計上月が翌月、翌々月等になる場合もあり、稼働件数と売上計上月は連動していません。
- ※ 以前に比べ、提供ソリューションのライナップが増加しており、ソリューションごとで 1 件あたりの単価が大きく変動いたします。そのため、稼働件数が多い場合でも売上への寄与度が小さかったり、稼働件数が少ない場合でも売上への寄与度が大きかったりする等、稼働件数と売上は連動していません。
- ※ あくまで参考データとしてご参照ください。

◆ 店舗 DB とは

店舗 DB とは、当社グループが創業期よりラウンダー、推奨販売、覆面調査等のフィールドマーケティング業務レポート、デジタルサイネージの出荷台数、オンラインサイネージから取得した棚前消費者行動等から収集した累計 860 万件超のデータに加え、地域経済分析システム「RESAS(リーサス)」や政府統計ポータルサイト「e-Stat(イースタット)」等のオープンデータ、企業の店舗情報を集約した独自のデータベースです。AI 分析により無数の切り口を自動作成し、機械学習で切り口の優先順位付けを行い、効率良く施策の企画・立案、効果的かつ効果的な店頭販促企画を実施するための店舗を抽出することが可能です。

◆ 当社グループ事業セグメントについて

当社グループは、「売場を元気に、日本を元気に、そして世界を元気に！」という事業コンセプトのもと、HRソリューション事業、IoTソリューション事業、MRソリューション事業の3セグメント構成で店頭販促支援事業を推進しております。

【HRソリューション事業】 ラウンダー、推奨販売、販売員派遣、販促ツール出荷個口数、リゾートバイト派遣、人材派遣等の稼働人数

【IoTソリューション事業】 デジタルサイネージの出荷台数

【MRソリューション事業】 覆面調査を中心とした実地調査の調査実施件数

【本件に関するお問い合わせ】

インパクトホールディングス株式会社 広報担当
TEL:03-5464-8321 / E-mail:pr@impact-h.co.jp